

CSR

REPORT 2009

CSRレポート2009

社会・環境への取り組み





目次

トップメッセージ	P2
経営ビジョン	P3
安全 安全への取り組み	P5
環境 環境保全活動	P7
環境 環境への取り組み	P9
社会 社会との関わり	P11
経済 経済との関わり	P13
会社概要	P14

編集方針

この「CSRレポート2009」は、福山通運グループにおける環境及び社会に対する取り組みを中心としたCSR活動をわかりやすくご紹介することを心がけ発行いたしました。

「CSR (Corporate Social Responsibility)」とは「企業の社会的責任」を意味し、その責任とは、企業が従業員や地域社会、そして社会全体のために、様々な立場の人々と協働し、持続可能な経済発展に貢献することである、と考えられています。

参考としたガイドライン

環境省「環境報告書ガイドライン(2003年度版)」
GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2002」

集計対象期間

2008年度(2008年4月～2009年3月)

集計対象範囲

福山通運株式会社	
北海道福山通運(株)	フクツー物流(株)
東北福山通運(株)	フクツー物流東京(株)
北東北福山通運(株)	福通エクスプレス(株)
南東北福山通運(株)	福通エクスプレス北海道(株)
北関東福山通運(株)	福通エクスプレス仙台(株)
関東福山通運(株)	福通エクスプレス甲信越(株)
甲信越福山通運(株)	福通エクスプレスウエスト(株)
近畿福山通運(株)	福通エクスプレス南九州(株)
淡路福山通運(株)	福通パーセルサービス(株)
岡山福山通運(株)	ジェイロジスティクス(株)
山陰福山通運(株)	エフアンドエイチエアエクスプレス(株)
四国福山通運(株)	グリーンスタッフサービス(株)
高知福山通運(株)	グリーンスタッフサービスウエスト(株)
九州福山通運(株)	グリーンオートサービス(株)
南九州福山通運(株)	福通トラベル(株)
沖縄福山通運(株)	福山通運包装整理(上海)有限公司

この報告書では、上記の福山通運グループを「福山通運」として表記しています。
次回発行予定：2010年6月

すべての皆様のご期待にお応えするために

福山通運は、物流という現代社会においてなくてはならない社会インフラの一端を担う者として、経済・環境・社会などあらゆる面を総合して「持続可能な成長」を続けていくことが何よりのCSRであると考えています。

幸いにも、福山通運は平成20年9月に創業60周年を迎えることができました。これもひとえにお客様をはじめとするステークホルダーの方々のご支援の賜物であり、皆様に厚く御礼申し上げますとともに、皆様から寄せられるご期待の大きさを改めて実感いたしております。そこで「皆様のご期待にお応えするにはどうすればよいのか?」を問い直し、それを平成21年度からの3年間にわたる経営計画「Challenge, Change2011」として策定し、基本となる次の5つの方針を定めました。

1. 良き「企業市民」として法令を遵守し、文化の向上、豊かな生活の創造を以って地域社会に貢献します。
2. 安全・安心なサービスをお届けします。
3. 営業基盤の拡充と新規市場への積極的な挑戦を通して、企業価値を高めます。
4. 従業員に豊かな生活を提供し、活力ある人材を育成します。
5. 環境経営への取り組みを強化します。

これら方針の実現に向けた福山通運のCSR活動の一端を、このCSRレポートを通じてご理解いただき、忌憚のないご意見を賜れば幸いに存じます。

引き続き、皆様からのご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



福山通運株式会社
代表取締役社長

小丸 成洋

経営理念

福山通運は、お客様とともに歩み、総合物流企業として文化の向上と豊かな生活の創造及び経済の発展に貢献すべく、たゆまぬ創意と工夫で物流フロンティアを先駆し続けることを経営理念とし、企業活動を営む。

信 頼 コミュニケーション



福山通運

経営理念
行動憲章

ステークホルダー

株主様・お客様・
お取引先・社員など
企業に関する利害関係者

地域社会との共生
環境保全の推進
経済発展への貢献

福山通運グループ企業行動憲章

私たち福山通運グループは、次の10原則に基づき、役員をはじめ社員一人ひとりが社会的良識をもって誠実に行動し、広く社会から有用な存在として信頼される企業を目指しています。

経営トップは、本憲章の精神の実現のため、周知徹底と体制整備を行うとともに、本憲章に反するような事態が発生したときには自らが問題解決にあたる姿勢を示し、原因究明、再発防止に努めます。

- 1 法令や社内規定を遵守し、その趣旨に沿って公明正大な企業活動を遂行します。
- 2 社会的に有用な総合的物流サービスを安全・確実な輸送に十分配慮して企画開発、提供し、お客様の満足と信頼を獲得します。
- 3 公正、透明、自由な競争を行います。また、政治、行政との健全かつ正常な関係を維持します。
- 4 お客様・株主・投資家をはじめとするステークホルダー（利害関係者）はもとより、広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を積極的かつ公正に開示します。
- 5 業務上知りえた機密情報について、その重要性を理解し機密保持に努めます。また、当社が所有する知的財産の重要性・有用性も理解し、その保護・創造に努めるとともに、第三者の知的財産権も同様に尊重し、これを不当に侵害・使用しません。
- 6 環境問題への取り組みは企業が果たす社会的責任であることを認識し、自主的、積極的に地球環境保全に取り組みます。
- 7 「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行います。
- 8 社員のゆとりと豊かさを実現し、安全で働きやすい環境を確保するとともに、社員の人格、個性を尊重します。
- 9 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは断固たる態度で臨みます。
- 10 海外活動においては、その文化や習慣を尊重し、現地の発展に貢献します。

福山通運のCSR活動

福山通運のCSR活動は、経営理念の実現のため「地域社会との共生」「環境保全の推進」「経済発展への貢献」を社会的責任と認識し、社会から信頼される企業を目指しています。

コーポレート・ガバナンス

福山通運は、迅速かつ的確な経営の推進とコンプライアンス遵守の経営に徹するため、コーポレート・ガバナンスの充実が極めて重要な問題であると認識しています。

(1)会社の機関の内容及び内部統制システムの整備状況等

福山通運の経営の基本方針及び経営に関する重要事項の決定、合わせて業務執行についての監視・監督機関でもある取締役会は、社外取締役2名を含む14名で構成され、随時会議を開催し、取締役による意思決定と業務遂行の迅速化を図っています。

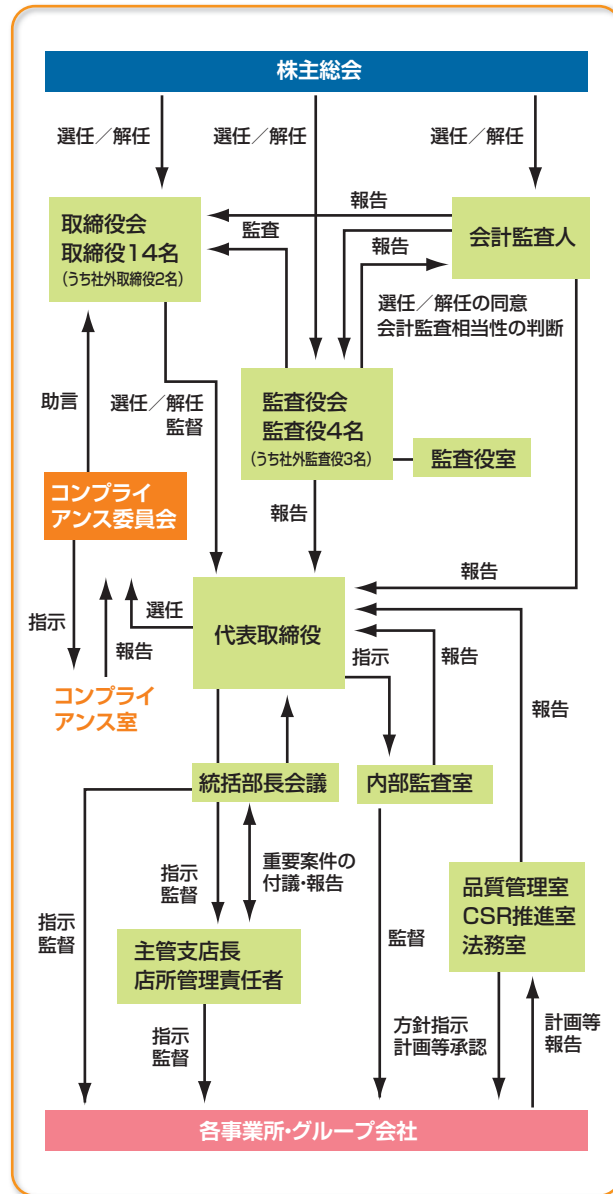
また、社外監査役3名を含む4名で構成された監査役制度を採用しており、取締役会やその他の重要な会議に出席するとともに、コンプライアンスの徹底及び取締役の業務執行について監査を実施し、必要に応じて意見を述べています。

(2)内部統制システムの整備状況

コンプライアンス実践のための遵守すべき行動指針として「福山通運グループ企業行動憲章」を制定し、「コンプライアンス委員会」の運営のもと、「内部監査室」がコンプライアンスの実施状況を検証する体制を整えています。また、コンプライアンス委員会直轄の「コンプライアンス室」において、内部統制システムの強化を図っています。さらに、法令、定款、社内規則及び企業倫理に反する行為を早期に発見、是正するために使用人からの通報を受け付ける「社内通報制度」を設けるとともに、「情報取扱規則」を整備し、これに則り情報の適切な保存、管理を実施しています。

(3) リスク管理体制の整備状況

リスク管理体制の基礎として「リスク管理規程」を制定し、担当役員を定めています。また、「リスク管理委員会」を設置するとともに、会社に重大な影響を与える不測の事態が発生した場合に、社長を本部長とする「危機管理本部」を設置し、損害、影響等を最小限にとどめる体制を整えています。



安全への取り組み

運輸安全マネジメント

福山通運では、「安全、安心はわが社の基本である」という安全方針のもと、教育研修や内部監査の制度構築など、安全のための様々な取り組みを行っています。2009年2月には、それらの取り組みについて、国土交通省の運輸安全マネジメント監査が行われ、実施確認や評価を受けました。

今後も安全管理体制の継続的な改善を行い、さらなる安全性の向上を図ってまいります。



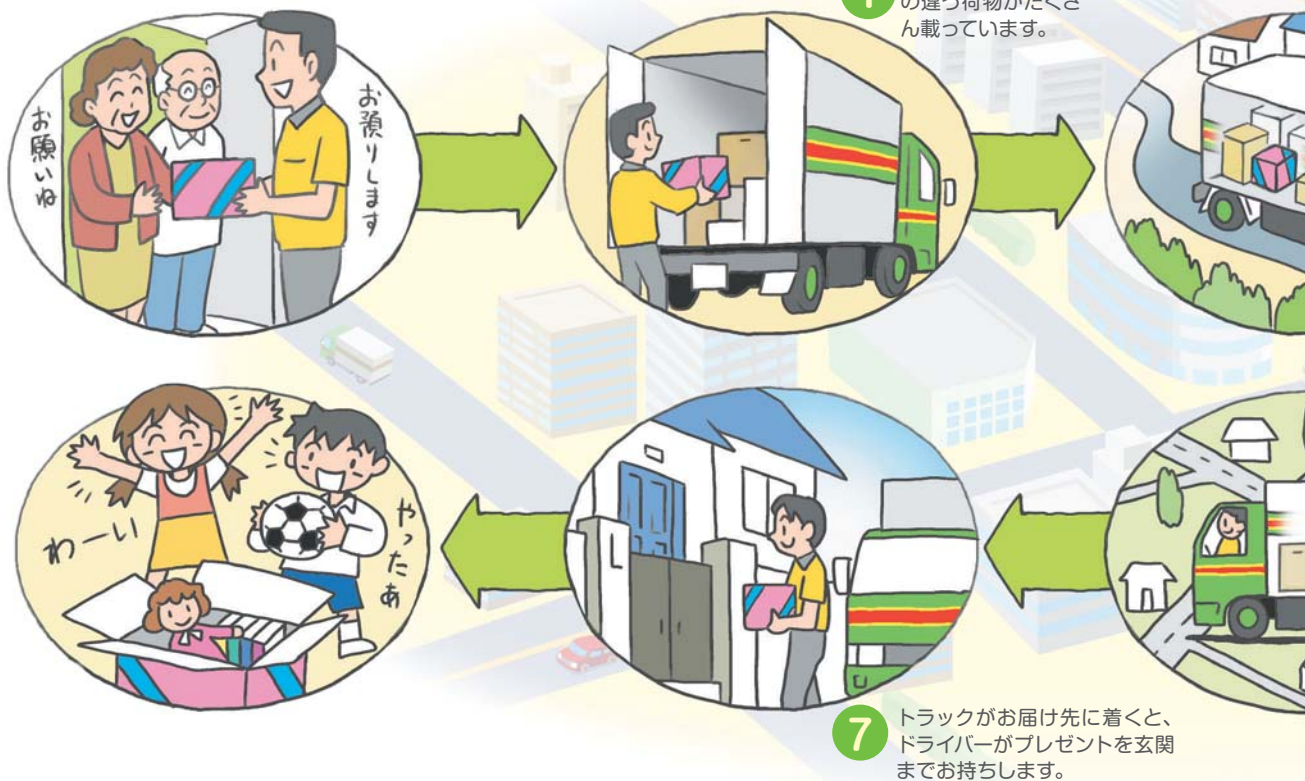
事業所での交通安全講習会

全国安全運行一斉点検

2008年7月25日から翌26日にかけて、第13回目となる「全国安全運行一斉点検」を実施しました。協力会社を含む521名が参加し、名神高速道路伊吹P.A.・山陽自動車道小谷P.A.をはじめ、その他全国43の主要事業所において、車両の点検や、乗務員の健康状態・安全意識の確認などを行いました。このように、定期的に点検を行うことで、交通事故防止や交通安全意識の高揚を図っています。

福山通運の事業活動

福山通運には約16,000台のトラックがあります。このトラックで荷物を集め、全国各地に配達しています。

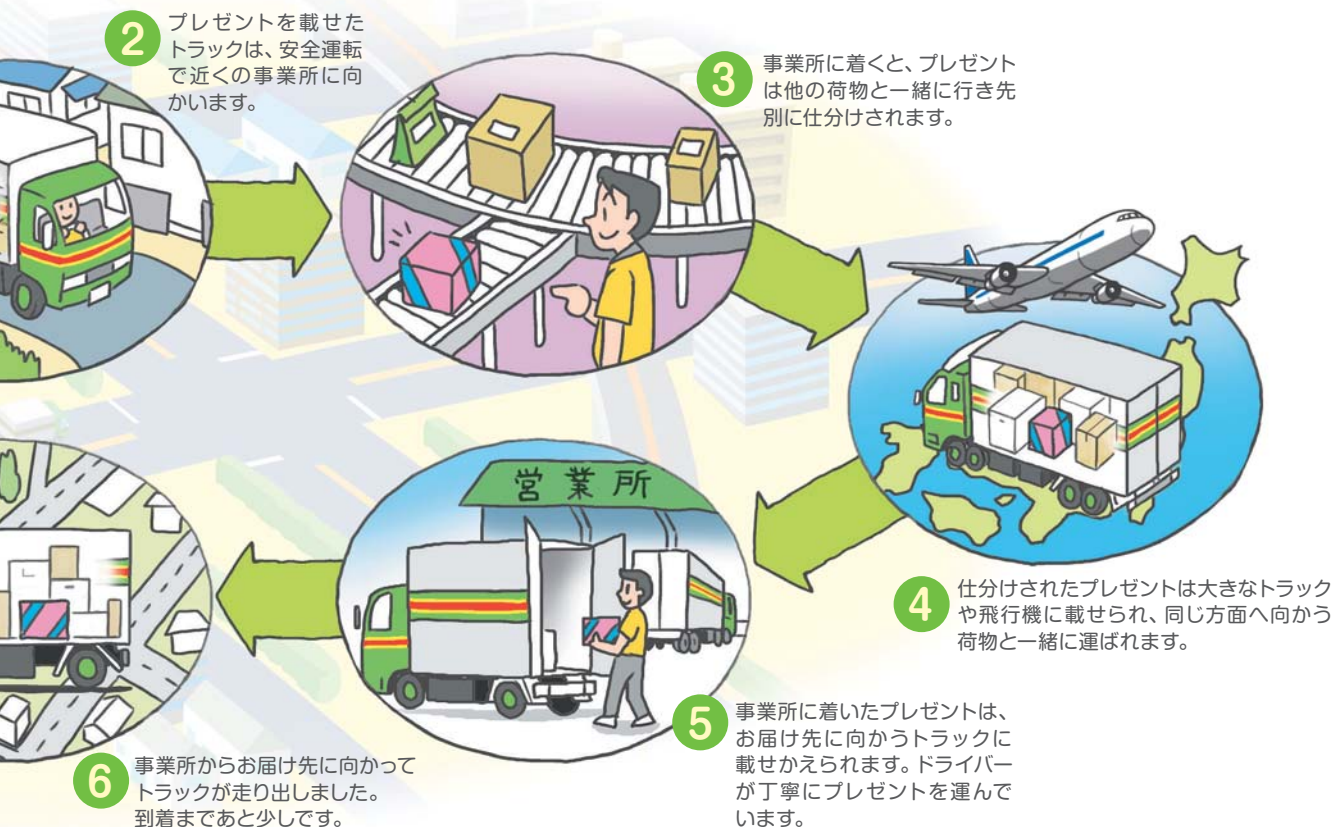


安全性優良事業所

「安全性優良事業所」の認定制度とは、国土交通大臣が指定した機関が、トラック運送事業者の安全性を評価し、認定する制度です。福山通運では、2008年度、累計192事業所で認定取得しています。今後も安全性の向上に努め、認定取得に取り組んでまいります。



全国安全運行一斉点検



福山通運の事業活動に伴う環境負荷量

環境負荷量とは、事業活動に伴い使用するエネルギーや資材、排出するガスや化学物質の量のことです。車両燃料や送り状（荷物に貼る用紙）の使用量などをINPUT、車両燃料により排出する温室効果ガスなどをOUTPUTとし、項目別に数値を把握することで、環境に負荷を与えている項目が見えてきます。私たちは、これからあげるような様々な取り組みを通じて、環境負荷をできるだけ低減させる環境経営を推進しています。

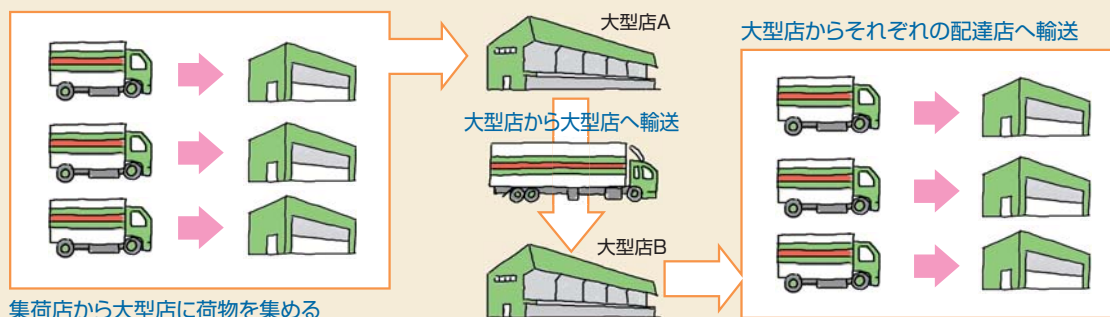
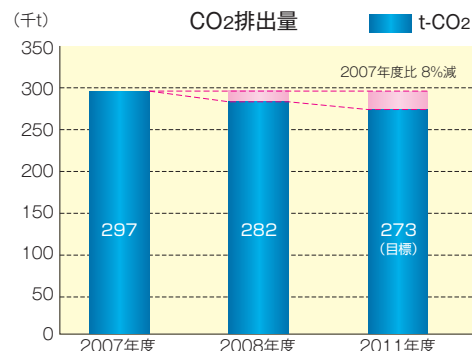
INPUT			
 物流	軽油	101	百万ℓ
	ガソリン	7	百万ℓ
	CNG	539	千m ³
 オフィス	電気	110	百万kWh
	ガス	505	千m ³
	灯油	315	千ℓ
	水	792	千m ³
	送り状	2	億枚

OUTPUT			
	CO ₂	282	千t-CO ₂
	Nox	2	千t
	CO ₂	44	千t-CO ₂
	PRTR届出 排出物質 トルエン	0.6	t

地球温暖化防止への取り組み

年々深刻化する地球温暖化問題について、温室効果ガス削減は、運輸に携わる私たちにとっても重要課題であると認識しています。全国ネットワークの福山通運では、効率的な輸送を行うことで燃料の消費量を抑え、CO₂排出量削減に努めています。

2009年2月6日策定の中期経営計画においても「環境」を重要な柱の一つとしており、それに基づき、2011年度においてCO₂排出量を8%削減（2007年度比）する目標を新たに立てました。CO₂排出量の削減に向け、次の3つの活動を主軸として、引き続き、積極的に取り組んでまいります。



① モーダルシフトの推進

福山通運では、トラック輸送だけでなく環境にやさしいグリーン物流の実現のため、環境負荷の小さい鉄道や船舶などに切り替える「モーダルシフト」を推進しています。特に鉄道輸送では、大型コンテナ(31フィートコンテナ)を導入し、一度に大量の荷物を鉄道輸送にシフトすることでCO₂排出量の大幅な削減に繋がっています。今後も、全体の輸送の効率化を考慮し、「モーダルシフト」を推進してまいります。



モーダルシフト(31フィートコンテナ)

② エコドライブの徹底

アイドリングストップなど燃料消費量を抑え、環境にやさしい運転である「エコドライブ」を実施しています。この取り組みは、CO₂削減だけでなく大気汚染防止や交通事故防止にも繋がります。各種資料の配布や日々の指導、講習会などの活動を行うとともに、2008年8月には「エコドライブコンテスト」を行うなど、エコドライブのさらなる推進、技術の向上に努めています。



エコドライブコンテスト表彰式



エコドライブコンテスト
トラクタ部門 1位

神戸支店

運行者 荒巻利康

「全員のやる気がポイントになると思いますので、息苦しいものにならないように、エコドライブに取り組みやすい環境を作っていきたいと思います。」



エコドライブ講習会



福岡支店

セールスドライバー 班長

鈴木啓仁

「全員のやる気がポイントになると思いますので、息苦しいものにならないように、エコドライブに取り組みやすい環境を作っていきたいと思います。」

③ 低公害車の導入

福山通運では、車両においても環境に配慮し、最新規制適合車や天然ガス車(CNG車)、ハイブリッド車など低公害車の導入を進めています。2008年度には最新規制適合車246台を導入し、CNG車とハイブリッド車の累計保有台数は203台となっています。



CNG車



ハイブリッド車

ISO14001認証取得

2000年10月より福山通運本社整備工場・車両課にてISO14001の認証を取得しており、環境保全に向けて目的、目標を定め、環境マネジメントシステムを導入しています。車両の整備・管理において大気汚染防止法、下水道法、騒音規制法、廃棄物処理法等の規制を遵守し、年1回の内部監査と外部認証機関による定期審査を行うことで、環境マネジメントシステムの継続的改善に取り組んでいます。



本社整備工場

ISO14001で取り組む目的・目標プログラム

評価:◎達成 △達成率80%以上 ×達成率80%未満

環境側面	基準年度	2008年度目標	2008年度実績	達成度	基準年度	2009年度目標
エコ整備(※1)		158台実施	158台実施	◎		162台実施
都市ガス使用量削減	2005年度	3%(1,310㎡)削減	85.8%(37,355㎡)削減	◎	2008年度	0.1%(7㎡)
紙ウエス(※2)使用量削減	2005年度	3%(24束)削減	13%(104束)削減	◎	2008年度	1.3%(9束)削減
シャンプラック(※3)使用量削減	2005年度	3%(123kg)削減	11.3%(422kg)削減	◎	2008年度	1%(36.5kg)削減
タイヤ廃品率	2005年度	3%(廃品率20%)削減	3.1%(廃品率19.9%)	◎	2008年度	1%(廃品率19%)
使用済みバッテリー回収		100%回収	100%回収	◎		100%回収

※1:特殊なエンジン洗浄や部品調整など、車両運行による環境負荷の低減を目的とする整備

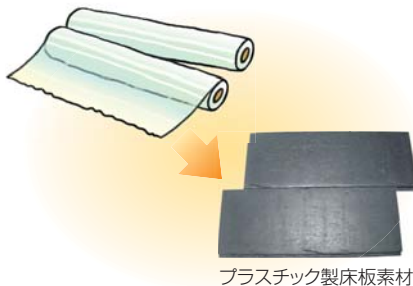
※2:紙製の工業用雑巾

※3:自動車用の防錆塗料の一種

リサイクル活動

梱包資材のリサイクル

梱包に使用され、再利用できないストレッチフィルム(梱包用ラップ)などを、専門の業者に依頼してトラックの荷台床板に加工してもらい、床面の張り替え材として利用する試みを、一部地域で開始しています。



タイヤのリサイクル

全国の店から回収された再利用できない古タイヤは、陸上競技場コース面など特殊マットの原料の一部として使われるほか、専用の炉で熱エネルギーを得るための燃料等としても利用されています。



使用済み制服のリサイクル

2008年7月に使用済みの制服(ポロシャツ)を約2,900着回収し、これを固形燃料化して熱エネルギーとして再利用するサーマルリサイクルを実施しました。



紙使用量を削減

システム利用による送り状などの紙使用量を削減

福山通運が使用する紙資源で特に消費量が多いのが荷物に貼る「送り状」です。そこで出荷支援システムを導入することで、面倒な送り状の記入がなくなり出荷作業が楽になると同時に、送り状も簡素化されることで紙資源の削減にも繋がります。この出荷支援システムの利用により2008年度は、紙使用量がA4換算で約4,500万枚削減できました。また、社内の業務関連資料も電子化に切り替える等、紙資源の削減に取り組んでいます。



5枚複写の送り状が



iS-2で1枚に

梱包資材を削減

スペースチャーター便

集荷から配達まで専用のロールボックスパレットを使用し輸送を行う「スペースチャーター便」は、専用カバーや封印により安全で安心な輸送を行えるだけでなく、梱包資材やパレットなどが不要となり、無駄な資材が削減でき環境にやさしい輸送が実現できます。



スペースチャーター便

チーム・マイナス6%

地球温暖化防止の国民運動「チーム・マイナス6%」への参加

2006年6月、福山通運は温室効果ガス排出量6%削減を目指す国民プロジェクト「チーム・マイナス6%」に参加しました。全社を挙げて省エネ運動に取り組んでいます。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%



① エアコンの温度調節



② 水道の使い方



③ エコドライブの徹底



④ 電気の使い方



⑤ ごみの削減

地域の皆様とともに

福山通運は、2008年4月で52回目となる清掃活動「アメニティクリーン作戦」をはじめとして、地域の皆様のために日々様々な活動を行っています。今後も地域社会との関わりを大切に、地域に貢献できる企業でありたいと考えています。

財団法人 渋谷育英会

渋谷育英会は、広島県出身の高校生、大学生に対する奨学金の貸与及び教育機関等への教育助成を目的に、1985年に設立された財団です。1996年には、いじめや不登校で悩んでいる子供のために「たくましい子になろう教育塾」を開設し、今日までに延べ9,058件の電話・面接相談に応じ、延べ15,028名の子供を受け入れてきました。

貴州師範大学「小丸文庫」応援委員会

2006年6月、渋谷育英会の活動により中国貴州省の貴州師範大学外国語学部内に「小丸文庫」が設置され、約200冊の書籍が寄贈されました。さらに福山通運では、従業員の家庭に眠っている本を役立ててもらおうと応援委員会を立ち上げ、1万冊を目標に書籍寄贈運動を応援しています。

新卒学生の追加募集

世界的な金融不安を背景として新卒者の内定取り消しなどが相次いで起こるなか、「社会貢献になれば」と、2009年1月、内定を取り消された学生や、まだ就職が決まっていなかった学生を対象に、2009年新卒採用の追加募集を行いました。それにより、新卒採用数は合計135名となりました。

交通安全に関する研究機関への協力

福山通運は、交通事故防止に学際的な面からも取り組んでいます。2008年4月には、広島大学をはじめ各国の大学などが携わる研究機関「アジアモビリティ安全プロジェクト研究センター（ASMOセンター）」の立ち上げに協力し、今後も事故データの提供などを行っていく予定です。



清掃活動（ジェイロジスティクス広島）



小学生の社会見学（加古川）



アメニティクリーン作戦 出発式

全国各地での主な社会貢献活動

日 付	活動内容	事業所
08年 4月	トラック協会主催の交通安全街頭啓発活動参加 安全協会主催の交通安全街頭活動参加 地域清掃活動参加	札幌 宇都宮 秋田
5月	福祉協議会主催のボランティアデー参加 地域清掃活動	高知 いばらき坂東
6月	特別支援学校から実習生受入	裾野
7月	小学生の社会見学 小学生の社会見学	加古川 青森
8月	トリアスロン大会ボランティア交通整理	児島
9月	安全協会等の安全グッズ配布活動参加 特別支援学校から実習生受入 東京消防庁より少年団活動支援で表彰	中村 荊崎 東京
10月	中学生の職場体験 赤十字支部から献血協力で感謝状 特別支援学校から実習生受入	西伊豆 秋田 土浦
11月	道路環境美化活動参加	宇都宮
12月	空港周辺の清掃活動参加	成田流通
09年 2月	市との協定に基づく災害時物資輸送訓練の実施	北九州
3月	保育園からの見学	えびの

お客様に向けて

王子運送株式会社との業務提携について

福山通運は2009年3月、王子運送株式会社との間で業務提携を締結しました。これは、両社のネットワーク事業、ロジスティクス事業、国際事業及び資材調達、情報システムといった事業活動全般にわたって、お互いの得意分野を生かし信頼、協力関係を構築し、相互

の企業価値及び株主価値の向上を図っていくことを目的としています。今後も、より多くのお客様に喜んでいただけるよう、様々な取り組みによってサービスの充実を図ってまいります。

2008年度の新設事業所等



東京北支店 2008年11月4日リニューアル



群馬太田支店 2008年12月1日オープン



南房総営業所 2009年3月2日オープン

社員とともに

福山通運では、社員一人ひとりがその個性や能力を発揮できるように教育や研修を充実させ、働きやすい職場づくりに努めています。

〈従業員状況(2008年度)〉

従業員数	19,357名	平均年齢	39.4歳
男性	18,389名	平均勤務年数	8.95年
女性	968名	障害者雇用率平均	2.15%



新入社員研修(広島)



ファミリーフェスティバル(岡山)



関東地区野球大会(東京ドーム)

2008年度 CSR会計

福山通運は、さまざまなステークホルダーの皆様と密接に関わりを持つことで事業を行っています。経済との関わりを連結財務諸表の数値を使用して下記のようにまとめてみました。

福山通運を支えていただくステークホルダーの皆様を常に想い、これからも社会の発展に貢献していきたいと考えています。



収入 2,430億円

お客様お荷物取扱い個数
約6億個

運送収入
2,210億円

流通加工・その他収入
220億円

損益内訳	金 額	ステークホルダー
営業外収益	9億円	金融機関
特別利益	0億円	

人件費
990億円

物件・諸費
1266億円

減価償却費
91億円

損益内訳	金 額	ステークホルダー
営業外費用	10億円	金融機関
特別損失	8億円	
税金	28億円	行政
配当	20億円	株主

従業員数
19,357名

取引先

費用 2,366億円

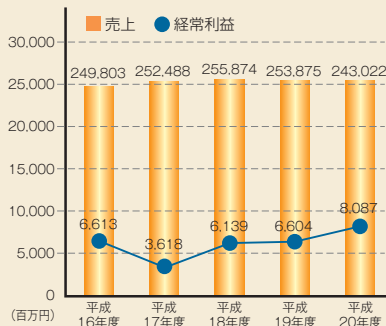
会社概要

平成21年3月31日現在

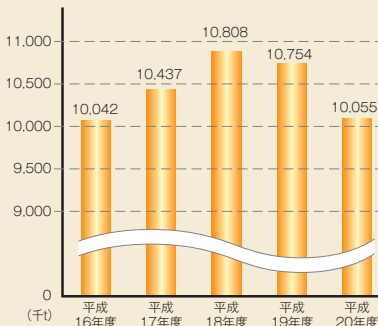


商 号 福山通運株式会社 (FUKUYAMA TRANSPORTING CO.,LTD.)
 本 社 所 在 地 広島県福山市東深津町四丁目20番1号
 設 立 年 月 日 昭和23年9月13日
 代表取締役社長 小丸 成洋
 資 本 金 30,310百万円
 事 業 種 目 貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業、通関業、不動産の賃貸業、スポーツ施設及び遊技場の経営、旅行業、損害保険代理業、物品の販売及び委託販売、その他上記に附帯関連する一切の事業
 事 業 所 数 310か所

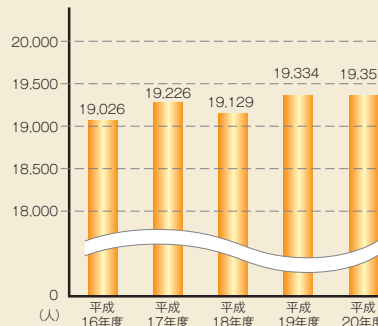
売上高推移



総輸送量推移



従業員数推移



編集後記

このCSRレポートは、ステークホルダーの皆様にも、福山通運がCSRについてどのように考え、またどのような活動を行っているかをお伝えするためのコミュニケーションツールとして作成されてきました。しかし同時に、社内の様々な部署、地域の社員達の協力を得ながら作成されているこの冊子は、その作成過程、その結果であるこの冊子自体を通じて、社員一人ひとりが改めてCSRについて考え、活動する契機としての役割も持っています。その認識を年々新たにしつつ、今年で作成6年目を迎えることができました。

今後のレポートの充実のため、皆様からのご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。最後までお読みいただきありがとうございました。



本レポートに関するお問い合わせは下記にお寄せください。

福山通運株式会社 CSR推進室

〒135-0044 東京都江東区越中島3-6-15
TEL: 03-3643-0292 FAX: 03-3643-3730

ホームページ <http://www.fukutsu.co.jp>
E-mail: csr@fukutsu.co.jp



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6% www.team-6.jp

「チーム・マイナス6%」とは、平成17年に発行した「京都議定書」にもとづき、日本が設定した温室ガス排出量6%削減目標を実現するための国民的プロジェクトのことです。



石油系溶剤の代わりに一部大豆油を使用したインキを使用しています。

(2009年6月発行)